

第28回滋賀県首長会議提案テーマ一覧

提案団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①子どもの医療費助成制度等の拡充について	
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、各市町では子どもの医療費助成事業を実施しているが、市町間で対象年齢や自己負担の有無など支援の内容に差がある。 ・一部の市町からは、国による全国一律の助成制度の創設や県による制度拡充の要望がある。 ・県では、市町からの要望や知事のマニフェスト（「子どもの医療費無料化の拡充検討」が明記）を受けて、鋭意、拡充に向け検討を行っているところ。 ・県議会では、できるだけ早期に県の拡充案を市町に示す旨の答弁をしている。 ・当会議で懸案事項となっているこのことについて、県の拡充案を提示し、市町長から御意見を伺い、拡充に向けた取組を進めたい。 <p>《参考》過去の首長会議での議論 （今までの首長会議で今回のテーマを直接的に取り上げたことはない。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回首長会議（R2.7.21） テーマ2『第2期滋賀県国民健康保険運営方針』に係る関連質問として、国保保険料水準の統一に合わせて、子どもの医療費の統一についても検討すべきとの意見が市町長からあり、「令和2～3年度に課題整理と方向性の合意形成、4～5年度に具体的な制度設計、関係機関との調整、財政措置等を市町と丁寧に議論していく」と知事が回答。 ・第23回首長会議（R4.4.12） テーマ1『母子保健・子育て支援の充実』に係る関連質問として、守山市長および栗東市長から子どもの医療費無償化の充実、大津市長から医療費助成のあり方に係る県の考えを聞かれ、「各市町それぞれ違いがある状況で、どこまでをどういう順序で揃えていけばいいのか、市町と議論したい」と知事が回答。 ・第24回首長会議（R4.8.22） テーマ1『障害者を対象とした福祉医療費助成制度の所得制限の見直し』に係る資料説明の中で、「子どもの医療費助成制度の議論の進捗を踏まえ、障害者の医療費助成制度についてもできる限り早期に県のお示しし、引き続き市町との議論を継続し合意を目指したい」と知事が説明。また、彦根市長から「限られた財源の中で子どもと障害のどちらを優先していくかについてアンケートを取っていただきたい」と要望。 ・第27回首長会議（R5.4.17） テーマ2『不登校対策』に係る関連質問の中で、「現在、県としての方向性をつくるべく、最終の検討をしており、できるだけ早い段階で首長会議の議題に挙げて、皆さんに御議論いただけるようにしたい」と知事が説明。
②こどもまんなか政策における「こども としょかん」の展開について	
湖南市	<p>県は令和4年度に県公共図書館協議会等での議論をもとに「こども としょかん」が目指す姿およびコンセプト（案）を作成され、今年度本案をもとに市町を含む多くの皆さんの意見を聞きながら滋賀ならではのコンセプト等を決定するとされていますが、具体的にどのような展開を考えておられるのかご教授願います。</p> <p>また、特にコンセプト1のどこでも「こども としょかん」について、子どもの身近な環境で本に親しめるようにするとありますが、今年度は希望された団体に貸出を行うとされているのみで、子どもが自ら選んだ本を取り寄せようとすると、一旦は在住の市町の公共図書館に行くか電話で依頼し、県および他市町の蔵書を公立図書館間の相互貸借で取り寄せ、本が届いたら再度在住の公共図書館へ取りに行くか、もしくは、県立図書館の蔵書であれば、利用カードを持っていれば、県立図書館の予約システムからインターネット予約し、県立図書館まで取りに行くという方法のみに限られているのが現状です。</p> <p>もっと気軽に、県だけでなく各市町の蔵書が検索・予約ができ、子どもの身近な学校等で受け取れるような仕組みを作ることができれば、子ども自らが主体性を持って本と出会う機会を創出できると考えますが、県内全市町を巻き込んだ事業展開について、県および各市町の意見をお伺いしたくご議論いただくようお願いします。</p>